### 2020/3/6 新JAIRO Cloud移行説明会

# 名古屋大学における 新JAIRO Cloudへの移行評価実験参加報告

名古屋大学附属図書館 林 和宏



### 名古屋大学概要

#### • 構成員

学部学生 9,628名 大学院学生 6,168名 教職員 3,963名

### •学部

文学部、教育学部、法学部 情報学部、理学部、医学部 工学部、農学部

### • 附属図書館

#### 蔵書数

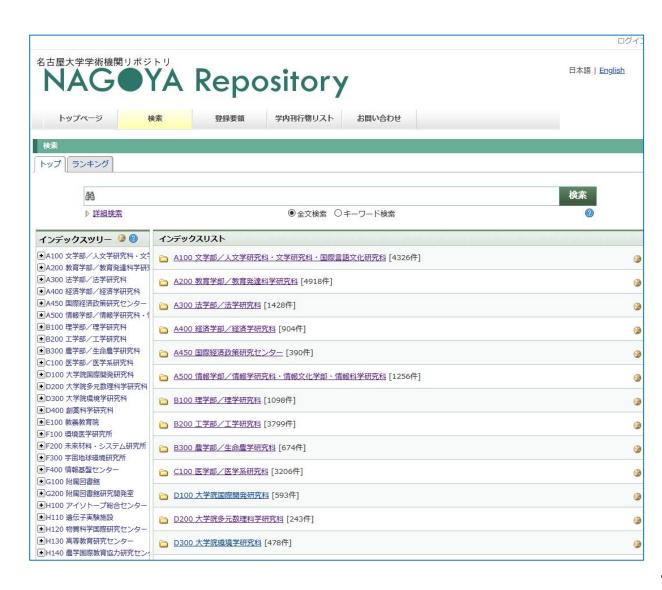
	和書	洋書	合 計	所蔵雑誌 種類数
中央図書館	699,033	528,846	1,227,879	17,787
医学部分館	115,211	88,654	203,865	5,825
部局図書室	991,439	914,348	1,905,787	31,227
合 計	1,805,683	1,531,848	3,337,531	54,839

#### 図書館サービス

	開館日数	入館者数 ( )內学外人館者	貸出冊数
中央図書館	353	763,319 (41,167)	181,795
医学部分館 (保健学図書室除く)	275	115,903 (457)	4,785
部局図書室	57~275	408,929 (3,685)	96,045
合 計	-	1,288,151 (45,309)	282,625

# Nagoya Repository (名古屋大学学術機関リポジトリ) 概要

- 本公開日:2006年2月28日
- 総登録数: 27655件。年間ダウンロード数: 約200万件(2020年1月現在)
- フィードバックメール送信対象者:約700名 (2020年1月現在)
- 2016年度より紀要にJaLC DOI付与開始
- 2016年4月19日にオープンアクセスポリシーを制定
- 自館のサーバでDSpaceをベースにリポジトリを構築し、提供していたが、2018年3月にJAIRO Cloudへ移行



# データ移行

- データ移行は、概ね順調。本学の場合、移行対象が学術雑誌論文のみであったため、 博士論文等は未検証
- 移行データの一部の項目で、アイテム詳細画面では表示されるが、編集画面で開くと、 統制語句等の設定と違うためか、表示されない例があり、改善を要望
- 移行データのハンドル、エンバーゴ設定、フィードバックメール設定も移行評価実験では対象外 → 気になった点は予定を確認
- 独自項目も、移行評価実験では対象外 → 一括修正ツールを要望

# 画面デザインの 再現

現JAIRO Cloudの画面を 新JAIRO Cloudで再現してみました!

現JAIRO Cloud(WEKO2)の検索画面例

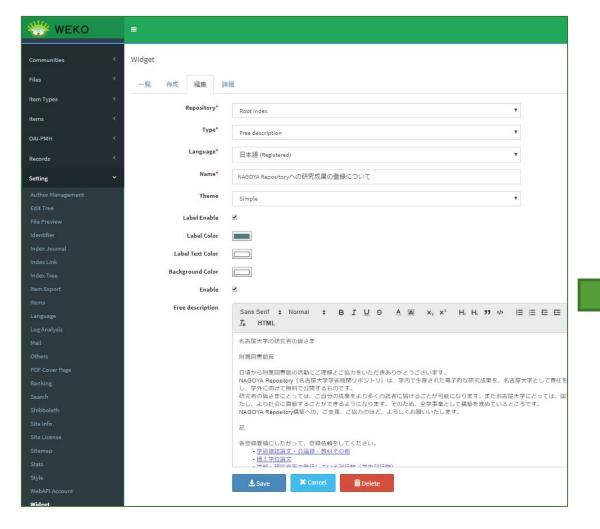


新JAIRO Cloud(WEKO3)の検索画面例(実験環境)

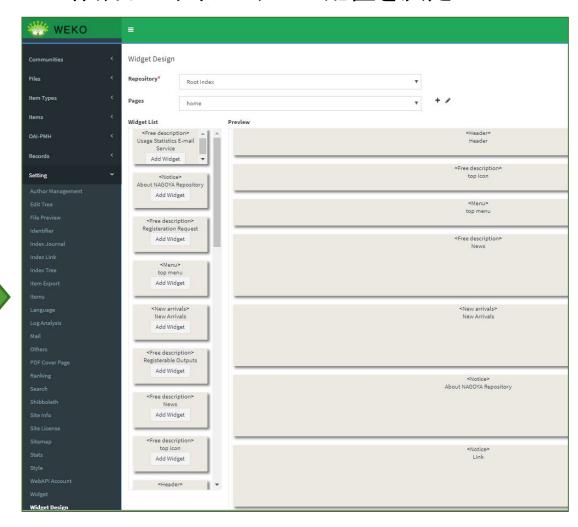


# 画面デザイン構築

1. ウィジェットというパーツを作成



2. 作成したウィジェットの配置を決定



# 画面デザイン構築

- WEKO3のウィジェットは、WEKO2画面デザインのモジュールに相当
- 一つのウィジェットに日本語表示と対応する英語表示を入力する。TOP画面では、言語表示切替により、言語表示が切替わる
- 配置したウィジェットに不要なスクロールバーが表示されるため、不要なスクロールバーを非表示にできるよう要望
- ウィジェットの配置・サイズで、WEKO2と同様な配置・サイズ調整ができるよう要望
- ウィジェット数が多い場合、ウィジェットの編集作業が困難であるため、各ウィジェットの識別・ 視認性の向上を要望
- HTML編集について、セキュリティやシステム上必要な制限を除いて、ある程度自由に編集できるよう要望

### アイテム詳細の

### 表示例(実験環境)

プレビュー機能があり、共有機能、統計、ファイル 出力情報、バージョン情報が右列に並ぶ配置

しかしながら...

- 別言語タイトルやファイル情報等、メタデータの表示並び替えをしたい箇所もあり
- 画面が縦にながく、利用者が必要な情報をすぐ 見つけられるようにするためには、工夫が必要 と感じました。



# アイテム詳細の

# 画面デザイン提案

- JPCOARスキーマの形式に近い形で、全ての項目を表示すると、行数がかなり多く、画面が縦長となってしまう。必要な情報を探すことが難しいと思われるため、行数を減らすことができないか検討して、現行WEKO2、CiNii Articles、J-STAGEを参考に、新画面デザインを提案
- 著者表示等は、1件あたりの項目数が特に多いが、 この項目数×人数の行となるため、著者が多い論文 等は、相当な行数となる。これを回避するため、詳細 は別画面で確認できるよう要望
- 本文リンクが画面上部、ファイル情報が画面下部に 分かれていたため、上部にまとめるよう提案
- 掲載情報の表示は、一つの欄にまとめ、雑誌名、巻、号、ページ等を表示できるよう要望

G200 附属図書館/G200a 雑誌掲載論文/学術雑誌

エンドューザーのWeb探索行動

Permalink: https://w3-nagoya.irrcosiniiac.jp/records/1297

名前/ファイル	ライセンス表示	アクション
050714taits.doc (202.2 kB) ファイル公開: 2018/02/16		ダウンロード インフォメーション
050714taits.pdf (651.8 kB) ファイル公開: 2018/02/16		ダウンロード インフォオーション
050714taits_figure1.doc (89.6 kB) ファイル公開: 2018/02/16		ダウンロード インフォメーション

日付

·公開日 2017-03-15 ·更新日

発行日 2016-10

タイトル別表記	End-users' web searching behavior : an analysis based or a survey of students at two-year college	
	※他言語タイトル、別タイトルあれば、入力順にこごに表示	
著者	種市 淳子, Taneichi Junko 逸村 裕, Itsumura, Hiroshi KAKEN	
	+詳細	
	※各言語氏名と連携リンクのみ表示。他情報は、詳細を グルック ※1人1行で改行	
著者キーワード	インターネット、情報探索 World Wide Web, information seeking	
抄錄	The World Wide Web (WWW) has had an unprecedented impact on the creation and utilization of information. As the amount of information continues to increase, it has become more difficult to select trustworthy information on the Web. This paper aims to analyze information seeking behaviors on the Web and examines the information. (以下略)	
提載情報	Library and Information Science ※他言語誌名あれば、入力順にここま示 巻(55) 号() ページ (1)-(23)	
出版者	三田図書館・情報学会	
	※他言語出版者あれば、入力順にここに表示	

View

各種コード

本文言語コード: JPN

ISSN: 0373-4447

DOI(Relation): https://doi.org/10 .1016/j.ejmp.2016. 07.091

> 出版タイプ: 著者最終稿

資源タイプ: Article

アクセス権: Open Access

共有

### ワークフロー

アイテムのメタデータ入力について、業務として日常的に入力を行うには、項目が増えた分、大変になる印象があったので、以下のような入力省力化の提案を行った。

- アイテム編集画面において、言語属性(xml:lng)をもつ各項目でその都度、同じ言語属性を入力するのは大変なため、言語属性を本文言語と連動して、自動でセットすること要望
  - 例)本文言語 dc:language="jpn" → xml:lang="ja"をセット 本文言語 dc:language="eng" → xml:lang="en"をセット ※デフォルト値であり各機関による変更を可能にする
- 属性(rdf:resource)についても、都度URLを入力するのは大変なため、プルダウンから語彙を選択したときに、それと連動してURI入力されるよう要望
- 本文データを登録した際に、本文URI、フォーマット、サイズ等のファイル情報メタデータ項目をデフォルトでセットすること要望

ご清聴ありがとうございました

いよいよβ版がリリースされます

一緒に新JAIRO Cloudをつくっていきましょう!